

まちのうごき

(1月1日現在)	(12月中)	
世帯数 17,205世帯	生まれた人 30人	
人口 53,040人	亡くなった人 17人	
男 26,098人	転入した人 184人	
女 26,942人	転出した人 236人	

向日市

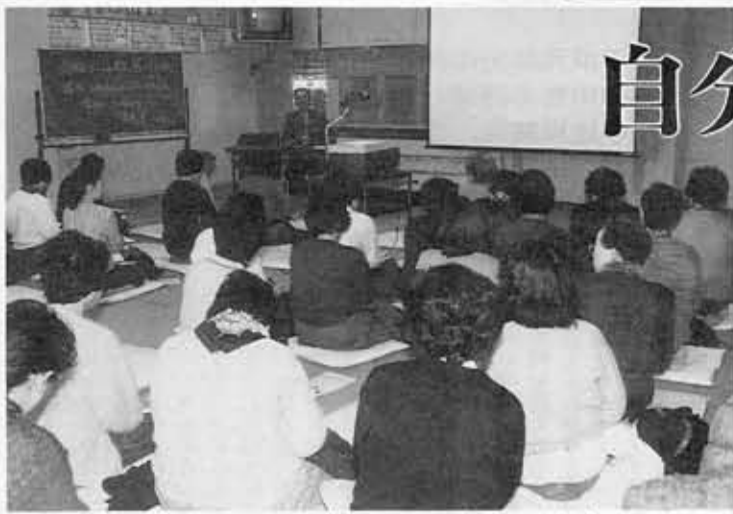
No.471

平成2年2月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

自分でつくりよう 自分の健康

2月1日～7日 成人病予防週間



成人病予防に熱心に耳を傾ける —高脂血症教室—

成人病予防は健診から

—平成元年度 基本健康診査結果—

平均寿命が男女とも世界のトップクラスにあるわが国は、高齢化が急速に進んでいます。高齢化に伴ってふえてきているのが、「成人病」です。基本健康診査は、自分で自分の健康状態や生活の問題点を確認できる機会となります。

基本健康診査は、成人病の早期発見と予防を目的として、40歳以上の市民を対象に毎年行っています。今年度は、集団方式(昨年9月、保健センターで実施)で1432人、個別方式(昨年9月10日、指定医療機関で受診)で2854人、合計4286人の市民が受診しました。

受診者の数は、年々増加してきており、成人病予防に対する市民の関心が高くなっていることを表すものといえます。

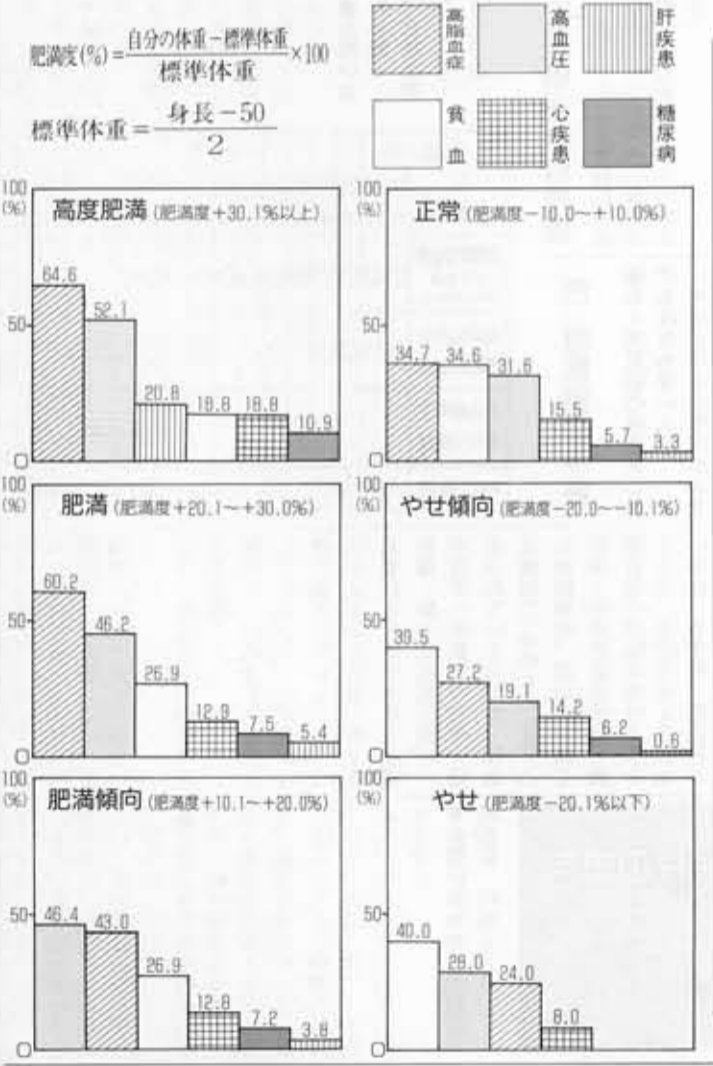
基本健康診査は、問診、身体計測、理学的検査、血圧測定及び糖、蛋白、ウロビリノーゲン、潜血を対象とする尿検査さらに、心電図検査、血液検査を行うものです。

肥満と成人病

悪い生活習慣の改善を

成人病は、「生活習慣病」といわれています。栄養の偏った食事、不規則な生活、お酒の飲みすぎ、運動不足、ストレスなど、生活の中のいろいろな悪習慣によって徐々に現れてきます。「がん」、「心臓病」、「脳卒中」、「高血圧」などがその主なものです。悪い生活習慣の中でも、太る食習慣と運動不足が肥満の原因となり、成人病へとつながっていくことは、よく知られています。

今年度の基本健康診査の結果をみても、肥満と成人病疾患には、関連関係が認められます。これを疾患別にみてみましょう。



「要医療」1745人
「要指導」2031人

なお、基本健康診査の対象となる市民のうち40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳以上の方には、節目健診として、直接、健診の案内をしています。

合判定は、医療機関でさらに詳しい検査が必要とされる「要医療」の人が1745人(40.7%)、日常生活でなんらかの注意が必要とされる「要指導」の人が2031人(47.3%)と、両方で3776人(88.1%)が健康について注意が必要と指摘されています。

疾病	要医療	要指導	合計	割合
高脂血症	613	947	1,560	36.4%
高血圧	731	636	1,367	31.9%
心疾患	390	658	1,048	24.5%
貧血	150	801	951	22.2%
肥満	142	650	792	18.5%
糖尿病	187	191	378	8.8%
肝疾患	103	175	278	6.5%

肥満者の中には、脂肪肝が多いといわれています。脂肪肝の原因として重視されているのは、肥満とアルコールです。放っておくと、肝硬変に進行しますが、原因を早期に除去すると、予後の良い病気といわれています。

テレビ番組のご案内

京都ふるさと案内
竹林そして長岡京 浪漫のまち
「向日市」
2月10日(土) 午後10時～10時30分 KBS京都テレビ(34ch)

西ノ岡丘陵(竹林の里)・ふるさと産品
洛西竹太筒・長岡京跡・ふるさと創生

Life Learning **入場無料**

生涯学習 **「<私>を生き時代**
シンポジウム **—自分探しと生涯学習—**

2月10日(土) 午後2時～4時 市民会館

対談 京都新聞社論説委員 吉田賢作氏
向日市生涯学習検討学識者会議委員
ウィメンズブックス編集長 木下明美氏

お問い合わせ 教育委員会社会教育課 (内線325)